



時間外受診



大村市の限られた医療資源を大切に！皆様のご協力をお願いします



医師会だより

Vol.13
2013.5.26

発行/ (株)大村市医師会
大村市協和町779番地
TEL 0957-54-0151
FAX 0957-54-3646
印刷: (株)つじ印刷

かかりつけ医療機関の診療時間内受診が基本です
医療機関診療時間外に受診が必要と思ったとき

19:00~
22:00

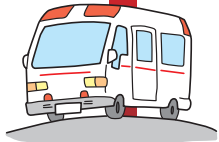
19:00~22:00
以外の時間

救急搬送が
必要な場合

大村市夜間初期
診療センター
内科・小児科

緊急性があれば
長崎医療センター
もしくは
市立大村市民病院へ
お問い合わせを

場所: 大村市本町413-2
(大村市こどもセンター内)
電話番号: 0957-54-9911



さらに医療が必要と判断される場合には紹介されます



長崎医療センターまたは市立大村市民病院

こんな症状がみられたら、ただちに119番に連絡してください!!

急性心筋梗塞の症状

- ・突然、胸の真ん中に生じる持続する強い痛み
- ・胸が締め付けられるような苦しさ

脳卒中の症状

- ・体の片側に力が入らなくなる
- ・言葉がうまく喋れなくなり、ろれつが回らない
- ・顔がゆがんだようになる

※他にも意識障害、呼吸困難、激しい頭痛など注意が必要です。



第22回 大村市医師会市民公開講座

演題 **医師・看護師が現場で活動する目的**
【ドクターヘリとドクターカー】

講師 **高山隼人先生** 長崎医療センター 救命救急センター長

日時 平成25年7月5日(金) 19:00~

場所 **長崎インターナショナルホテル 2階**

入場無料
手話通訳あり

大村看護高等専修学校

平成25年度 **オープンキャンパス** 案内
社会人ガイダンス

オープンキャンパス
(新卒者対象)

平成25年8月6日(火)
平成25年8月7日(水)
9時集合~12時迄の予定

社会人ガイダンス

平成25年 8月30日(金)
平成25年10月 4日(金)
平成25年11月15日(金)
1回目18時開始・2回目19時開始
各定員12名

【申込先】
mail o-kango@fine.ocn.ne.jp

☎(0957)52-6712

「大村市夜間初期診療センター」

こども診療と内科系診療を統合し 5月1日から駅前の“こどもセンター”で新たな門出



大村市医師会
会長 小尾 重厚



医師不足、医師の地域的偏在や診療科間偏在問題は全国的に大きな問題になっていますが、大村市においても市民の健康を維持する事、特に時間外診療に大きな問題が生じました。

① 2007年(平成19年)3月に市民病院から小児科医はいなくなり、大村

市医師会は大村市より夜間初期診療の委託を受け、こどもセンターの中で初期診療を行っています。

② 2011年(平成22年)10月には内科医の不足も現実化し、市民病院は時間外対応から撤退せざるを得なくなり、大村市医師会は大村市から時間外診療を委託され、2カ月後(平成23年1月4日)には市民病院の一角で、内科系初期診療を開始しました。

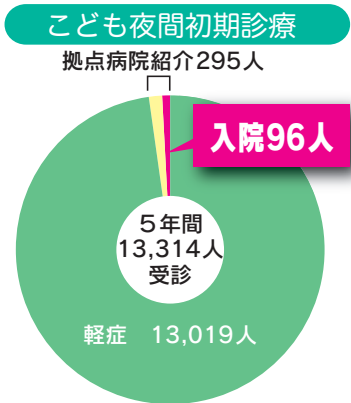
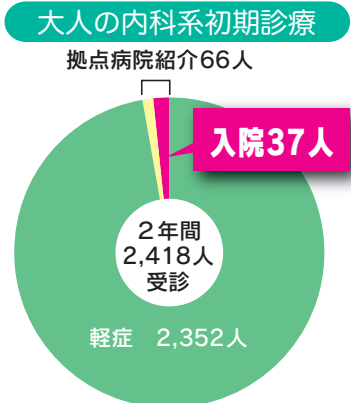
この5月1日から、2か所で行われていた内科・こども夫々の時間外診療を1か所にまとめ効率化を図り、医療機関の役割分担を明確にすることで、勤務医の負担・疲弊感の軽減を図る事になりました。

大人の内科系初期診療では、開設当初より約2年間で2,418人が受診し、長崎医療センターに紹介になった患者さんは約2.7%66人、入院になった患者さんは約1.5%37人でした。

こども夜間初期診療では5年間1万3,314人が受診し、長崎医療センターに紹介になった患者さんは約2.2%295人、入院した患者さんは約0.7%96人でした。

この結果からわかるように、大多数の患者さんは、初期診療所で対応可能な軽症の患者さんであって、長崎医療センターのような第三次医療機関を受診する必要性はなかった事が分かります。きちんと医療連携する事は社会的共通資本とみなされる限りある医療機関を大事にし、ひいてはそこに努める医師の疲弊を軽減し重症な患者さんの対応が可能になります。

患者さんも、この限りある社会的共通資本の医療機関を、大事に利用するためには、病気の事を少しだけでも結構ですから、是非勉強して頂きたいと思います。講師の必要があれば遠慮なく医師会まで申してください。医師会としてきちんと講師の御世話等はさせていただきます。



夜間初期診療のほとんどは軽症の患者さんでした。

救急医療体制を守るために 一人一人が次のことを心がけましょう

かかりつけ医を持つ

日常の健康管理など体のことを気軽に相談できる主治医として「かかりつけ医」を持ちましょう。

診療時間内にかかりましょう

病気やケガの場合は、なるべく診療時間内にかかりましょう。時間内受診により医師の負担を軽くするだけでなく、専門の診断や検査が受けられます。

休日診療は当番医にかかる

休日は「休日当番医」を受診しましょう。

夜間診療は初期診療センターを利用しましょう

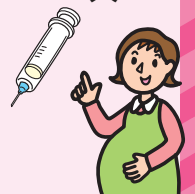
夜間に具合が悪くなったときに、入院や手術の必要がない軽症の場合は、「夜間初期診療センター」を利用しましょう。

救急車は適切に利用しましょう

救急車は、急病や重症で緊急に、病院への輸送しななければならない患者さんが利用するものです。

風疹注意報発令中

大村市医師会
会員 田川 正人



全国的に風疹が流行しています。風疹は「三日ばしか」とも呼ばれ、軽く見られがちですが決してそうではありません。特に以下のことをよく知っておく必要があります。

- ① 妊娠中の女性が風疹にかかると胎児が感染し重篤な後遺症(精神運動発達遅滞、難聴、先天性心疾患など)を発症することがあること
- ② 合併症特に脳炎などで後遺症に苦しむことがあること

風疹はワクチンで防ぐことが出来ますので、是非ワクチンを受けてください。特に以下の方々には接種を強くお勧めします。

- ① 妊娠前の女性
- ② (妊娠中には接種が出来ません) 成人男性で風疹にかかったことがない方、風疹ワクチンを受けていない方、どちらも不明の方(複数回接種しても問題はありません)
- ③ 妊娠中の女性の家族(一歳児と小学校入学前一年間は麻疹風疹混合ワクチンの定期接種を受けましょう) 風疹の予防接種を受ける場合は風疹と同時に麻疹も予防できる、麻疹風疹混合ワクチン(MRワクチン)の接種が勧められています。予防接種を検討された方、受けた方は、かかりつけ医やお近くの小児医療機関のほか、お住まいの市区町村にお問い合わせください。